

令和2年9月25日

各中学校長 殿  
各専門委員 殿

東京都中学校体育連盟会長 平本浩実  
同 バレーボール部長 篠原政一  
同 バレーボール委員長 松井晶揮

## 第64回 東京都中学校バレーボール新人大会競技要項

- 1 主催 東京都中学校体育連盟バレーボール部 (公財) 東京都バレーボール協会  
 2 開催期日 令和2年11月15日(日) 22日(日) 23(月)  
 3 会場 11月15日(日) 1・2回戦 各中学校体育館 男女各16会場  
 11月22日(日) 3回戦・準々決勝・準シード1回戦 各中学校体育館 男女各4会場  
 11月23日(月) 準決勝・決勝・準シード: 準決勝・決勝  
 男子: 豊島区立巣鴨北中(決勝) 板橋区立上板橋第一中(準シード)  
 女子: 十文字中(決勝) 豊島区立明豊中(準シード)

※3日間とも8時30分開場、開始式はおこなわず、9時から第1試合のチームのみ10分間ネットを使用した練習、終了して5分後プロトコール。

※競技上の注意、会場使用上の注意は「大会参加に関して引率責任者へのお願い」  
「東京都中体連バレーボール部大会参加に関わる感染拡大防止について(参加者向け)」  
を事前に熟読し、参加生徒に周知徹底をお願いします。

- 4 参加資格 (1) 同一校に在学する生徒によって編成されたチームで、各ブロックの代表権を得たチームであること。  
 (2) 推薦枠として、前年度の優勝校・準優勝の2チームが属するブロックにその数だけ還元する。  
 (3) 東京都中学校体育連盟に登録されたチームであること。  
 (4) 中高一貫及び小中一貫校の生徒は、中学部入学(小学校入学後7年目)から3年間の中等課程に在学している者とする。  
 ※合同チームについては中体連の条件を満たしていること。  
 同一支部内の2校の生徒であり、どちらかの学校が6人未満の場合。さらに所属支部に報告し認定されていること。

各ブロックの代表数は次の通りとする。

ブロック	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	推薦枠	計
男子	7	7	3	9	7	8	4	2	6	4	5	2	64
女子	7	7	7	6	6	9	7	2	4	3	4	2	64

推薦チーム<男子>駿台学園中学校・サレジオ中学校 4ブロックと10ブロックに各+1

<女子>世田谷区立北沢中学校・文京学院女子中学校 2ブロックと4ブロックに各+1

- 5 競技規則 令和2年度(財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。  
 ネットの高さ<男子>2m25cm <女子>2m10cm  
 大会使用球 <男子>モルテンV4M5000 <女子>ミカサV400Wの予定
- 6 競技方法 25点制3セットマッチのトーナメント戦。3位決定戦は行わない。
- 7 申込方法 申込用紙(別紙資料参照)に必要事項を記入し、組み合わせ会議までに各ブロック常任委員宛に申し込むこと。締切期日後は受け付けない。  
ブロック常任は、令和2年10月26日(月)までに「ブロック代表校」の一覧表を競技委員長まで提出すること。(ファックス可)
- 8 チーム構成 (1) チームは、監督・コーチ・マネージャー各1名・選手は18名登録できる。その中から試合ごとに14名をベンチ入りさせることができる。ただし、13名以上ベンチ入りさせる場合はリベロプレーヤーを下記の数で登録しなければならない。  
 ※ベンチ入り選手 12名: リベロプレーヤー0~2名  
 13名以上: リベロプレーヤー2名選手  
 (2) 監督は当該校の専任教員・部活動指導員とする。また、引率の責任を負う。ただ

し、部活動指導員が引率・監督を務める場合には、所定の「部活動指導員確認書（校長承認書）」の様式に必要事項を記入し、監督会議で参加申込書と一緒に提出すること。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。

※専任教員とは（教諭・助教諭・常勤講師）であり、部活動指導員とは、省令で言う外部指導員とは違う。

- (3) 外部コーチは学校長が許可し都の中体連に登録した者とする。なお、大学生以上の者（年齢がそれに当たる者）とし、中高生は禁止する。なお、次の2項も禁止する。
  - ① 都大会出場校の中で、2校または2チーム以上兼ねること。
  - ② 小学校・中学校・高校・大学を含む他校の専任の教職員。
- (4) マネージャーについては、生徒とする。
- (5) 監督・コーチ・マネージャー・キャプテン章は、規定の物を用いる。
- (6) 資格違反は発見と同時に出場を停止する。
- (7) 監督の変更は、同一大会中において変更を認められる。上記の規定に従い、大会前日までに競技委員長に連絡し、大会1日目のコート主任に届けを提出する。その後も変更が生じる場合においても、その都度、競技委員長に連絡し、大会当日の朝コート主任に届けを提出する。
- (8) メンバーの変更は、大会前日までに競技委員長に連絡し、大会1日目のコート主任に届けを提出する。（その後の変更はできない）

9 参加費 7000円 大会1日目の会場主任に納入のこと。※プログラム代も同様

10 組み合わせ会議 令和2年11月6日（金）午後2時30分

<会場> 十文字中学校（豊島区北大塚1-10-33）

※前年度優勝チームは、優勝杯等の返還を行い、レプリカを授与する。

※今大会はシード校の監督及び各ブロック常任が必ず出席のこと。シード校の監督、ブロック常任が不在の時は生徒ではなく、代理の教職員が出席のこと。

抽選はシード校以外は、各ブロック常任の責任抽選とする。

なお、駐車場がありませんので、車はご遠慮ください。

◎今回は男子・女子の順に抽選を行う。

※シード権と会場について

①競技要項に示したとおり16シードとし、各ブロックの1位から正シード8校、準シード3校を決定する。ただし、4シードについては前大会（新大都大会）の上位に入ったブロックの1位を（1・32・33・64）に振り分ける。（同順位の場合は、最後の試合の①セット率②得点率で決める。）残りの7ブロックを（9・16・17・24・41・48・49・56）に振り分ける。残りの5校は、前大会の上位に入ったブロックの2位から準シード1校、準々シード4校を決定する。

ただし、同じブロックは8分の1ゾーンに分ける。チームの抽選順は前もって予備抽選を行う。

尚、今大会で獲得した次の大会（2021年度）のシード（正シード、準シード、準々シード）についてはチーム還元とせず、ブロック還元とする。

②1日目の会場はシード校、男女各16校を会場とする。会場校ができない場合は各ブロックで貸し会場を準備する。また、2日目の会場は4シードを会場とする。会場校ができない場合は各ブロックで貸し会場を準備する。

☆4シードに入るブロックは下記の通りです。

男子：1ブロック・4ブロック・5ブロック・10ブロック

女子：1ブロック・2ブロック・3ブロック・4ブロック

☆各ブロックの2位のシード結果は下記の通りです。

男子：1ブロック・4ブロック・5ブロック・6ブロック・10ブロック

女子：2ブロック・3ブロック・4ブロック・6ブロック・7ブロック

※11月23日（月）準シード決定戦

○2日目の準シード1回戦で勝利したチーム・男女各4チームにより行う。

○形式は1日目と同じとし、帯同審判制で補助役員も各チームから出す。

○準シード4校の順位を決定する。トーナメントにより3試合行い9位～12位まで決定、ただし、

3位決定戦は行わず、1位に負けたチームが11位、2位に負けたチームが12位とする。

準シード1回戦で敗退したチームを準々シードとする。

○大会要項に記載されているので、棄権は認めない。

○準シード4校と準々シード4校の次年度の総体兼選手権大会における扱いは、令和2年度の競技要項に示した通りとする。(ブロック還元制とする。)

#### 11 試合ごとのエントリーの方法、その他

①都大会1日目に提出する参加申し込み用紙の番号は整理番号とし、背番号は試合ごとに提出するメンバー表に記載すること。

②ユニホームは18枚用意することが望ましいが、無理な場合は、試合ごとにベンチ入りさせる14名の番号を提出するメンバー表に記載すること。ただし、18枚ユニホームがあるチーム、または14名以下の選手登録チームは背番号と選手を固定すること。要項に記載されている以上、違反チームに対しては厳しい姿勢で対応する。

③メンバー表は当日の朝受付時に、各会場のコート主任に提出すること。その後勝ち残った場合は、試合が連続する場合を除き、1つ前の試合までに提出すること。1日を通してメンバーの入れ替えがない場合は、その旨を各会場のコート主任に伝えること。

④メンバーの入れ替えがなくても試合ごとに新しいメンバー表を提出すること。

※⑤メンバー表は組み合わせ会議で配布、または東京都中体連バレーボール部のHPからダウンロード

⑥公式練習中はメンバー表に記載されたメンバーのみとする。(最大14名)

⑦2年間は適用し、不都合があった場合は、その都度改善をしていく。

⑧チームは登録した人数分のプログラム購入の努力をして欲しい。

#### 12 注意事項 (1) 出場チームは、記録・線審・点示等の補助審判ができるように指導すること。

(2) 出場チームは、定められた競技規則による服装とする。  
背番号は、1～18番が望ましい。

(3) 出場チームは、審判(有資格者)を1名用意すること。

(4) ユニホームの名前は、学校名がわかるものとする。

(5) 健康診断において、健康な生徒であること。(大会で負傷した時は、(独)日本スポーツ振興センターより給付の対象となります。)

(6) 監督は正規の監督であること。

(7) 第一日目の審判は、4チームで分担して運営すること。

(8) 会場の体育館以外に勝手に立ち入らない。また、会場使用上の注意を守ること。

(9) 持参した弁当がらや屑物、及び使用後に出了ゴミや缶類についても会場校に捨てないでチームが持ち帰ること。缶ジュース・瓶ジュース類は持参しないこと。

(10) 出場チームの監督は、選手だけでなく、応援の生徒や保護者に対しても、指導、監督すること。

(11) 上記の事項に違反したチームは出場を停止とする。

(12) 大会におけるビデオ・写真撮影への対応

撮影は、大会関係者に限る。ただし、取材等の場合は本部への申請により許可することもある。関係者であっても、撮影にあたっては、会場が各中学校の際は各チームから会場責任者に申告させる。3日目の際はIDカード類を大会本部から発行し許可制とする。その際、撮影した画像、動画をSNS等にアップしないこと。発覚した場合は削除させることがある。また、悪質な場合は関係諸機関に通報することがある。

**※ (13) コロナ関係については別紙を熟読し、出場チームの監督は、選手だけでなく、応援の生徒や保護者に対しても指導、監督を徹底すること。**

◎上記についての問い合わせ及びメンバー変更の連絡は

競技委員長 板橋区立上板橋第一中学校 沼田 茂雄まで

板橋区南常盤台1-1-1 TEL 03(3956)8126